

## 漢方エキス製剤の吸湿性について

発表者 内田 暁子

共同実施者 小野田 彩子

【目的】田端店では、小児の用量調節や服用の簡便性向上を目的として漢方エキス製剤を開封して分包し直す処方が度々持ち込まれている。そうした場合、保管状況や時間の経過に伴い、色調の変化、形状の変化が現れる。現状ではエキス製剤が吸湿しやすいことは認識されていたが、どのような変化を示すかは確認できておらず、患者様への保管方法の説明に具体性を持たせることができていなかった。そこで、漢方エキス製剤開封後の経時変化を確認し、患者様へのより良い保管方法を検討し、提案する。

### 【方法】

・4つの保管状況下での経時変化を観察した。また、医薬品によって吸湿性に差があるかも検討した。

- ① 冷蔵庫（ユニパック）
- ② 室温（ユニパック＋乾燥剤）
- ③ 室温（ユニパック）
- ④ 室温（そのまま）

・患者様に見た目の変化、保管方法などについてアンケートを実施。

### 【結果】

4つの保管状況下での経時変化より、冷蔵庫での保管が最も吸湿しなかった。

医薬品の種類、メーカーによっても、吸湿性が異なる結果を得た。

患者アンケートより、約半数が保管時に変色、固まったという結果を得た。そのうち、変色や固まりが気になった人が4割近くいた。

### 【考察】

お薬をユニパックに入れ、冷蔵庫で保管することを患者さまに推奨する。現在、『このお薬は吸湿しやすいため保管に注意してください』という紙をつけているが、それだけだと不十分であり、服薬サポートにて冷蔵庫で保管するように説明する必要があると考えられる。また、患者さまから色の変化、形状の変化の問い合わせがあったときに、今回のデータを参考に説明できるのではないかと考える。